

# 新風

## 3年生卒業おめでとうございます。

明日は、第74回卒業証書授与式です。3年生の生徒の皆さん及び保護者の方々、ご卒業おめでとうございます。

昨年度の卒業式は、臨時休業中ということもあり、参加者を減らすとともに、内容も変更して実施しました。現在、宮崎県内の感染状況は落ち着いているとは言え、予断を許さない状況に変わりはありません。152名の卒業生とその約2倍の保護者を足すと、合計500名近くの人を体育館に集めることになります。一人一人に卒業証書を授与したい気持ちは山々ですが、昨年度同様、学級の代表者に授与し、内容も一部変更して短時間で盛大にお祝いをするという方法をとります。どうぞ、ご理解ください。

さて、本年度は、新型コロナウイルス感染症の防疫のために学校行事を中止したり、縮小したりしなければならぬ一年でした。子どもさんも家庭では、「何で、僕たち（私たち）の時に！」と不満をもらす場面が多かったのではないかと予想します。しかし、生徒は学校では「やれることを、やれる形で」一生懸命取り組んでくれたと思います。体育大会、秋桜祭など、これまでとは違う形での実施でしたが、最上級生としての姿を後輩に見せてくれました。今後の新型コロナウイルス感染症の状況は、予測できませんが、「卒業生には次のステージで頑張ってもらいたい。」という気持ちで一杯です。

3月11日が、東日本大震災から10年目ということもあり、最近震災に関わる様々な報道がなされています。その中で私が心に残った報道の一つが、震災後わずか12日後に開催された、第83回選抜高校野球大会の選手宣誓の言葉です。創志学園（岡山）の主将、野山慎介さんが次のような選手宣誓をしたのを、私もリアルタイムで見ている感動と勇気をもたらしたことを思い出しました。内容としては、震災に関わるものや高校球児の視線かもしれませんが、違う視点で読んでみると、卒業生や在校生、あるいは私たち大人に対しての「メッセージ」であるようにも感じます。

「人は仲間に支えられる」＝人は一人では生きていけない。常に支え、支えられて生きている。感謝の気持ちをもとう。

「精いっぱい元気を出して」＝毎日の生活は楽しいことだけではない。つらいこと、面倒くさいこともある。でも、夢をもって、目の前の困難から逃げずに、元気を出して頑張っていこう。

「生かされている命に感謝」＝この世に生まれたことが奇跡である。家族、友だちや先生、地域の人を敬い、感謝して、精一杯生きていこう。

私なりの解釈を加えてみました。3年生にとっては、明日が義務教育最後の日になります。紹介した選手宣誓の言葉を噛みしめ、次のステージに進んでください。活躍を期待しています。

1、2年生は、1ヶ月弱で進級します。今年よりも一歩前進という気持ちをもってほしいと思います。夢を追い求めよう！



【体育大会終了後の3年各学級の様子】

私たちは16年前、阪神・淡路大震災の年に生まれました。  
今、東日本大震災で多くの尊い命が奪われ、私たちの心は悲しみでいっぱいです。

（中略）

**人は仲間に支えられる**ことで、大きな困難を乗り越えることができると思っています。私たちに、今できること。それは、この大会を**精いっぱい元気を出して**戦うことです。がんばろう！日本。**生かされている命に感謝**し、全身全霊で、正々堂々とプレーすることを誓います。